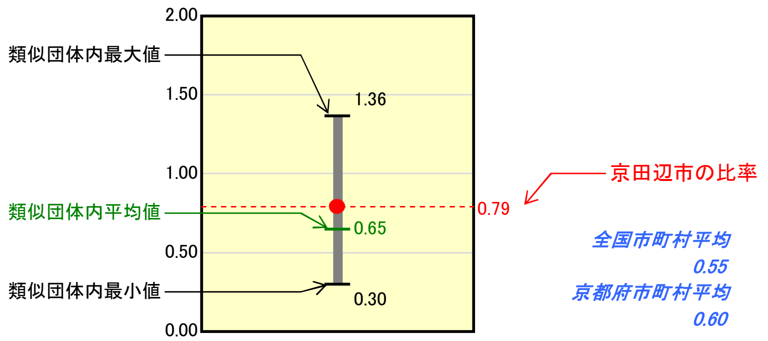
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

京都府 京田辺市

人口	61,402	人(H20.3.31現在)
面積	42.94	km²
歳入総額	19,884,797	千円
歳出総額	19,683,497	千円
実質収支	99,416	千円

財政力

財政力指数 [0.79]

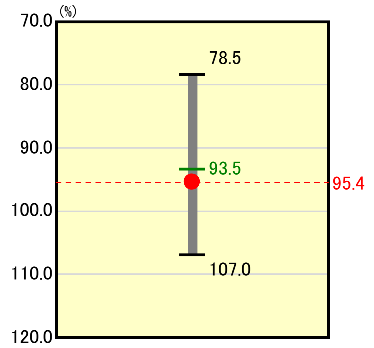


類似団体内順位
[24/127]

全国市町村平均
0.55
京都府市町村平均
0.60

財政構造の弾力性

経常収支比率 [95.4%]

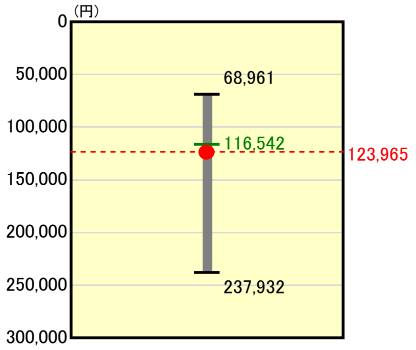


類似団体内順位
[81/127]

全国市町村平均
92.0
京都府市町村平均
96.2

人件費・物件費等の適正度

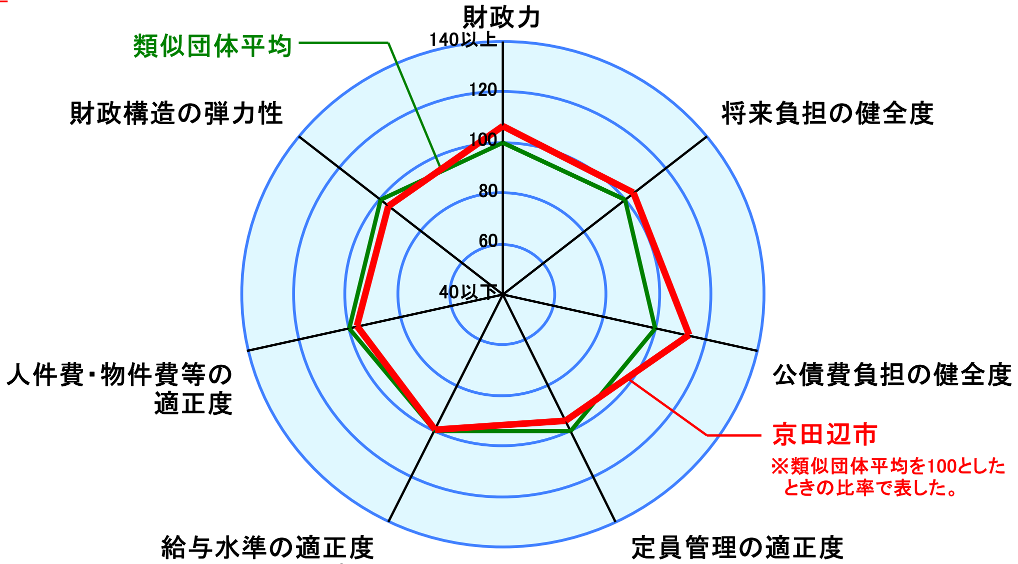
人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [123,965円]



類似団体内順位
[83/127]

全国市町村平均
116,898
京都府市町村平均
122,781

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし
人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



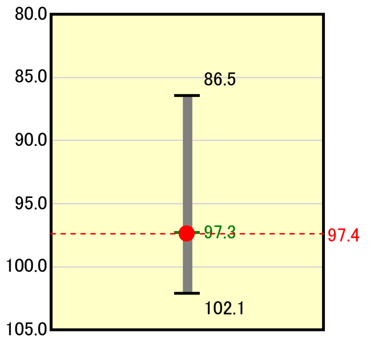
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

給与水準の適正度 (国との比較)

ラスパイレス指数 [97.4]

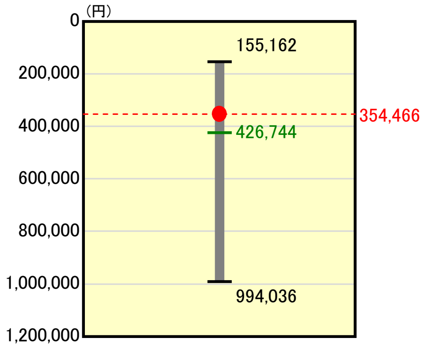


類似団体内順位
[66/127]

全国市平均
97.0
全国町村平均
93.2

将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 [354,466円]

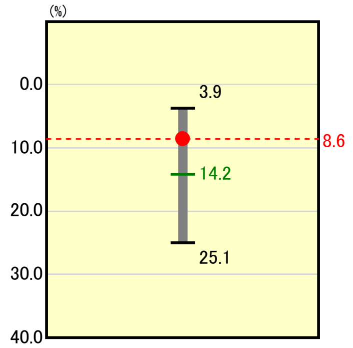


類似団体内順位
[46/127]

全国市町村平均
446,922
京都府市町村平均
619,025

公債費負担の健全度

実質公債費比率 [8.6%]

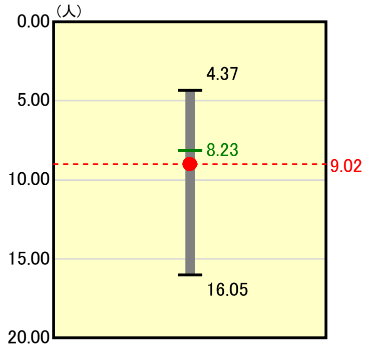


類似団体内順位
[12/127]

全国市町村平均
12.3
京都府市町村平均
12.7

定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 [9.02人]



類似団体内順位
[83/127]

全国市町村平均
7.82
京都府市町村平均
8.47

分析欄

【財政力(財政力指数)】
企業業績の伸びにより、市税(法人税割)が増え、前年度から0.01ポイント増加している。
今後も市税収納率の向上や新たな財源確保を進め、財政基盤を強化する。

【財政構造の弾力性(経常収支比率)】
人件費や公債費は減少しているが、児童手当や介護保険特別会計繰出金等の少子高齢化対策経費が伸びており、類似団体平均を上回っている。
今後、人件費の削減(H17からH22の5年間で1,474百万円削減)や補助金の見直し(H17からH22の5年間で177百万円削減)等により、経常経費の削減に努める。

【公債費負担の健全度(実質公債費比率)】
類似団体平均を大きく下回っており、今後も公債費や債務負担行為などを抑制する。

【将来負担の健全度(人口1人あたり地方債現在高)】
減税補てん債の廃止等により、地方債残高が前年度から約4億円減少しており、今後も普通建設事業の計画的な実施により、地方債発行を抑制する。

【給与水準の適正度(ラスパイレス指数)】
類似団体平均とほぼ同じ水準となっており、今後も各種手当ての見直しを進め、適正な給与体系の構築に努める。

【定員管理の適正度(人口1,000人当たり職員数)】
幼稚園、保育所やごみ処理業務等を直営していることに加え、他町の消防業務を受託しており、類似団体平均を上回っている。
今後、組織再編や民間委託等を進め、職員数を削減する。(H17からH22の5年間で10%削減)

【人件費・物件費等の適正度(人口1人当たり人件費・物件費等決算額)】
類似団体平均を上回っているのは、幼稚園、保育所やごみ処理業務等を直営しているためで、今後、組織再編や民間委託等を進め、人件費・物件費等を削減する。(物件費:H17からH22の5年間で754百万円削減)